

重点的に取り組む課題と目標

テーマ：認知機能が低下した方への理解者を増やす

【課題・背景】

- ① 高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が増加し、軽度認知機能低下者の早期発見が難しくなっている。重度化してからの相談ケースが増えている。
- ② 生産年齢人口10万人当たり若年性認知症者数は47.6人（厚労省調査）となり、多摩市でも潜在的に40人以上発症していると推定される。過去2件の相談ケースを支援する中で、当事者や家族が抱える多様な問題への対応方法が課題となった。支援者（関係者）側に適切な知識や情報提供が必要である。

【目標】

- ① 近トレや介護予防教室へ認知症についての普及啓発を行うことで、参加者の認知機能低下の早期発見や互助・共助の理解を深める。
- ② 関係者が若年性認知症の知識を習得し、理解を深めることで当事者・家族の思いを知り支援に役立てていく。
 - ① 慣れ親しんだ場に通り続けられるよう、また「居場所」となるよう担当地区内、4か所の元気アップ会と8か所の近トレを訪問し、自分ごととして考えるための認知症予防の提案と認知機能低下の気づきや支えあいの重要性について普及啓発を行う。また認知症サポーター養成講座を開催する。
- ② 東京都多摩若年性認知症総合支援センターの専門相談員による講座を開催し(認知症を知る月間9月を予定)、関係者が若年性認知症に対する知識と理解、対応を正しく知る。

目標を達成するための活動計画

- ① 慣れ親しんだ場に通り続けられるよう、また「居場所」となるよう担当地区内、4か所の元気アップ会と8か所の近トレを訪問し、自分ごととして考えるための認知症予防の提案と認知機能低下の気づきや支えあいの重要性について普及啓発を行う。また認知症サポーター養成講座を開催する。
- ② 東京都多摩若年性認知症総合支援センターの専門相談員による講座を開催し(認知症を知る月間9月を予定)、関係者が若年性認知症に対する知識と理解、対応を正しく知る。

【令和5年度】地域包括支援センター重点目標 認知症地域支援推進員アクションプラン

(東部 包括)

月	日時	取組	内容
4		地域課題会議のテーマの検討 (地区連絡会とコラボ予定)	民生委員へのアンケート(テーマ等) ・4月末 締め切り ・分析、テーマ検討 プリリアカフェ活動支援
5		既存の居場所にアプローチ (認知症の理解者を増やす) ・気づきや支え合いの重要性 ・認知症予防普及啓発提案	諏訪5-2集会所 認サボ講座
6			のんびり馬引沢 認サボ講座
7			聖ヶ丘小学校キッズ認サボ講座
8	※中間報告	地域課題会議(終活講座について)	Part1(アンケート結果分析→テーマ決定)
9	認知症を知る月間	<p>住民主体(人)と居場所の構築</p> <p>認知機能が低下した方を離脱させないための支援 ・気づきや支え合いの重要性 ・認知症予防プログラムの提案</p> <p>認サボの開催 認知症への理解者を増やす (令和4年度よりニーズのあった地域にアプローチ)</p> <p>「若年性認知症について学ぼう」 講師...多摩若年性認知症総合支援センター相談員</p>	<p>近トレ「聖ヶ丘灯火サロン」(吉田)</p> <p>近トレ「金聖会」(瀧)</p> <p>近トレ「連光寺東部健幸わわ」(遠藤)</p> <p>近トレ「京王一の宮サロン」(川口)</p> <p>近トレ「連光寺志学火サロン」(遠藤)</p> <p>元気アップ会「すわ元気アップ会」(森)</p> <p>元気アップ会「ニコニコ元気あっぷ」(遠藤)</p> <p>元気アップ会「連光寺しあわせ」(三好)</p> <p>近トレ「丘の上」(森)</p> <p>近トレ「はなみずきクラブ」(三好)</p> <p>近トレ「なごやか健幸体操の会」(瀧)</p> <p>地域体操活動「イキイキ健賢会」(吉田)</p> <p>地域活動 諏訪5-2集会所(瀧)</p> <p>諏訪南学童クラブ保護者に向けて認サボ講座</p>
10			
11			
12			
1	※評価		
2			諏訪小学校キッズ認サボ講座
3		地域課題会議(地区連とコラボ)	